

病院年報

2025 年度

Annual Report 2025



医療法人 徳洲会

六地藏総合病院

Rokujizo General Hospital

医療法人徳洲会 六地蔵総合病院
2025 年度 病院年報

目次

1 理念

- ・六地蔵総合病院の理念/基本方針

2 病院概要

- ・施設概要
- ・沿革
- ・施設基準
- ・病院組織図

3 患者統計

- ・外来患者統計
- ・入院患者統計
- ・救急搬送統計
- ・手術統計

4 診療部門

- ・内科
- ・外科
- ・呼吸器外科
- ・整形外科
- ・脳神経外科
- ・泌尿器科
- ・皮膚科
- ・耳鼻咽喉科
- ・眼科
- ・小児科
- ・リハビリテーション科
- ・麻酔科

5 看護部門

- ・外来
- ・病棟
- ・手術室

6 副診療部門

- ・リハビリテーション科
- ・薬剤部
- ・臨床検査科
- ・診療放射線科
- ・臨床工学科
- ・栄養管理室

7 健診部門

- ・健診センター

8 事務部門

- ・医事課

- ・ 地域医療連携室
- ・ 診療情報管理室
- ・ 医師事務作業補助者

9 医療の質改善部門

- ・ 医療安全管理室

10 委員会

- ・ 委員会組織図

1

理念

理念と基本方針

六地藏総合病院の理念

1. 生命を安心して預けられる病院
2. 健康と生活を守る病院

基本方針

1. 「年中無休・24時間対応」にて地域医療に貢献します。
2. 患者さんの意思を尊重し、十分な説明と同意を心がけ、
安全で信頼される医療を行います。
3. 医療技術・診療態度の向上にたえず努力します。
4. 地域の医療機関・介護福祉施設などとの連携を密にして、
地域医療の充実に貢献します。
5. 患者さんからの贈り物は一切受け取りません。
6. 自分の家族にも受けさせたい医療を提供します。

2 病院概要

施設概要

■施設概要

病院名	医療法人 徳洲会 六地藏総合病院
所在地	〒611-0001 京都府宇治市六地藏奈良町9番地
電話	0774-33-1717
FAX	0774-32-8718
ホームページURL	https://www.rokujizogh.jp/
院長	木戸岡 実
診療科目	内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・外科・消化器外科・呼吸器外科・ 整形外科・脳神経外科・泌尿器科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・婦人科・ 肛門外科・眼科・診療放射線科・リハビリテーション科・麻酔科・救急科
延床面積	11,096.459㎡（3,356.67坪）
敷地面積	5,336.9319㎡（1,614.42坪）
建物	鉄筋コンクリート構造 地下1階 地上4階
駐車場	43台
病床数	143床（一般急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟）
指定	労災等
公共交通機関	地下鉄東西線「六地藏駅」3番出口より徒歩2分 JR奈良線「六地藏駅」徒歩5分 京阪宇治線「六地藏駅」徒歩8分
関連施設	徳洲会 訪問看護ステーション 六地藏支所 〒611-0001 京都府宇治市六地藏奈良町9番地【六地藏総合病院隣接】 TEL: 0774-33-1721

沿革

■病院の沿革

1959年（昭和34年）	大和診療所を京都市下京区七条大和大路の地に開設
1964年（昭和39年）	大和病院へと名称を変更し、救急医療の専門病院として地域に貢献する
1970年（昭和45年）	医療法人和松会設立
1982年（昭和57年）	大和六地藏病院を現在地に開設
1985年（昭和60年）	大和診療所・大和健診センターを京都市の中心部、四条柳馬場の地に開設
1987年（昭和62年）	京都府立医科大学研修指定病院の認定を受ける
1988年（昭和63年）	大和六地藏病院第二期工事完成し260床へ増床、 大和病院閉院
1989年（平成元年）	大和六地藏病院から「六地藏総合病院」へと名称変更
1998年（平成10年）	訪問看護ステーション「まごころ24」を病院に併設
2003年（平成15年）	運動器疾患研究所を設立し脊椎、頸髄の拠点病院として活動
2006年（平成18年）	理事長：原島 裕 就任
2010年（平成22年）	院長：宮本 達也 就任
2011年（平成23年）	回復期リハビリテーション病棟を開棟
2013年（平成25年）	通所リハビリテーションを開始
2015年（平成27年）3月	医療法人和松会 会長 笠松英子 退任
2015年（平成27年）4月	株式会社 キャピタルメディカ アドバイザリー契約開始
2015年（平成27年）	地域包括ケア病棟を開棟
2015年（平成27年）	大和健診センターを分離
2017年（平成29年）	199床へ許可病床を変更リハビリテーションセンターを拡張移転
2021年（令和3年）2月	回復期リハビリテーション病棟閉棟⇒コロナ病床（30床）
2022年（令和4年）10月	医療法人和松会 六地藏総合病院 廃院

■医療法人徳洲会に事業継承以降

2022年（令和4年）11月	医療法人徳洲会 六地藏総合病院 として事業継承
2022年（令和4年）12月	売店「アスカ」閉店
2023年（令和5年）1月	喫茶「ルモンド」閉店 通所リハビリテーション 閉鎖
2023年（令和5年）2月	まごころ24「訪問看護ステーション」⇒宇治徳洲会病院 訪問看護ステーション サテライトへ移籍転換 まごころ24「居宅介護支援事業所（みなし）」宇治徳洲会病院居宅介護支援事業所 として吸収合併
2023年（令和5年）1月	S3 障害者病棟（43床）休床＝病棟単位改修工事開始
2023年（令和5年）3月	コロナ病用30床（確保病床）⇒12床（即応病床）へ転換 病院直営売店営業開始
	回復期リハビリテーション病棟（コロナ使用）⇒再開棟
2023年（令和5年）4月	病院長：木戸岡実 就任
2023年（令和5年）4月	山城北二次輪番病院群へ参画（二次輪番受け入れ開始） S3病棟改修工事終了 ／ N3病棟（61床）休床＝改修工事開始 コロナ病用12床（即応病床）⇒10床（即応病床）へ転換
2023年（令和5年）5月	N3病棟改修工事終了 ／ N2病棟（42床）休床＝改修工事開始
2023年（令和5年）7月	N2病棟改修工事終了 ／ S2病棟（44床）休床＝改修工事開始
2023年（令和5年）9月	病棟改修工事完了

	N3（回復期リハ）＝60床　／　S3（地域包括ケア）＝38床　／ N2（一般急性期）＝56床　／　S2（一般急性期）＝45床（内、コロナ10床） 宇治徳洲会回復期リハ機能の全面移設
2023年（令和5年）10月	コロナ病床確保終了／病床改修工事編成完了 N3（回復期リハ）＝60床　／　S3（地域包括ケア）＝38床　／ N2（一般急性期）＝55床　／　S2（一般急性期）＝46床
2023年（令和5年）11月	健診センター新規開設 マンモグラフィー装置新規導入
2024年（令和6年）8月	婦人科開設
2025年（令和7年）2月	呼吸器外科開設
2025年（令和7年）4月	1.5テスラMRI装置導入
2025年（令和7年）12月	病床変更 N3（回復期リハ）＝60床→48床　／　S3（地域包括ケア）＝38床→42床 N2（一般急性期）＝55床→閉鎖　／　S2（一般急性期）＝46床→53床

施設基準

<基本診療料>

機能強化加算

医療DX推進体制整備加算

急性期一般入院料 4

救急医療管理加算

診療録管理体制加算 1

医師事務作業補助体制加算 2 2 5 対 1

急性期看護補助体制加算 2 5 対 1 (看護補助者 5 割以上)

注 2 夜間 5 0 対 1 急性期看護補助体制加算

注 3 夜間看護体制加算

重症者等療養環境特別加算

栄養サポートチーム加算

医療安全対策加算 1

注 2 医療安全対策地域連携加算 1

感染対策向上加算 2

後発医薬品使用体制加算 2

データ提出加算 2 及び 4

入退院支援加算 1

注 4 地域連携診療計画加算

医療的ケア児（者）入院前支援加算

認知症ケア加算 2

せん妄ハイリスク患者ケア加算

協力対象施設入所者入院加算

回復期リハビリテーション病棟入院基本料 1

地域包括ケア病棟入院料 1

注 3 看護職員配置加算

注 5 看護補助体制充実加算 1

入院時食事療養/生活療養（Ⅰ）

<特掲診療料>

がん性疼痛緩和指導管理料

院内トリアージ実施料

ニコチン依存症管理料

薬剤管理指導料

医療機器安全管理料 1

別添 1 の「第14の2」の 1 の(3)に規定する在宅療養支援病院

在宅時医学総合管理料及び施設入居時医学総合管理料

在宅酸素療法指導管理料の注 2 に掲げる遠隔モニタリング加算

在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2 に掲げる遠隔モニタリング加算

検体検査管理加算Ⅰ・Ⅱ

神経学的検査

遠隔画像診断管理加算 2

CT撮影及びMRI撮影

無菌製剤処理料

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）

運動器リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）

ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

大動脈バルーンパンピング法（IABP法）

医科点数表第 2 章第10部手術の通則の16に掲げる手術（胃瘻造設術）

輸血管理料Ⅱ

輸血適正使用加算

胃瘻造設時嚥下機能評価加算

麻酔管理料（Ⅰ）

保険医療機関間の連携による病理診断

看護職員処遇改善評価料

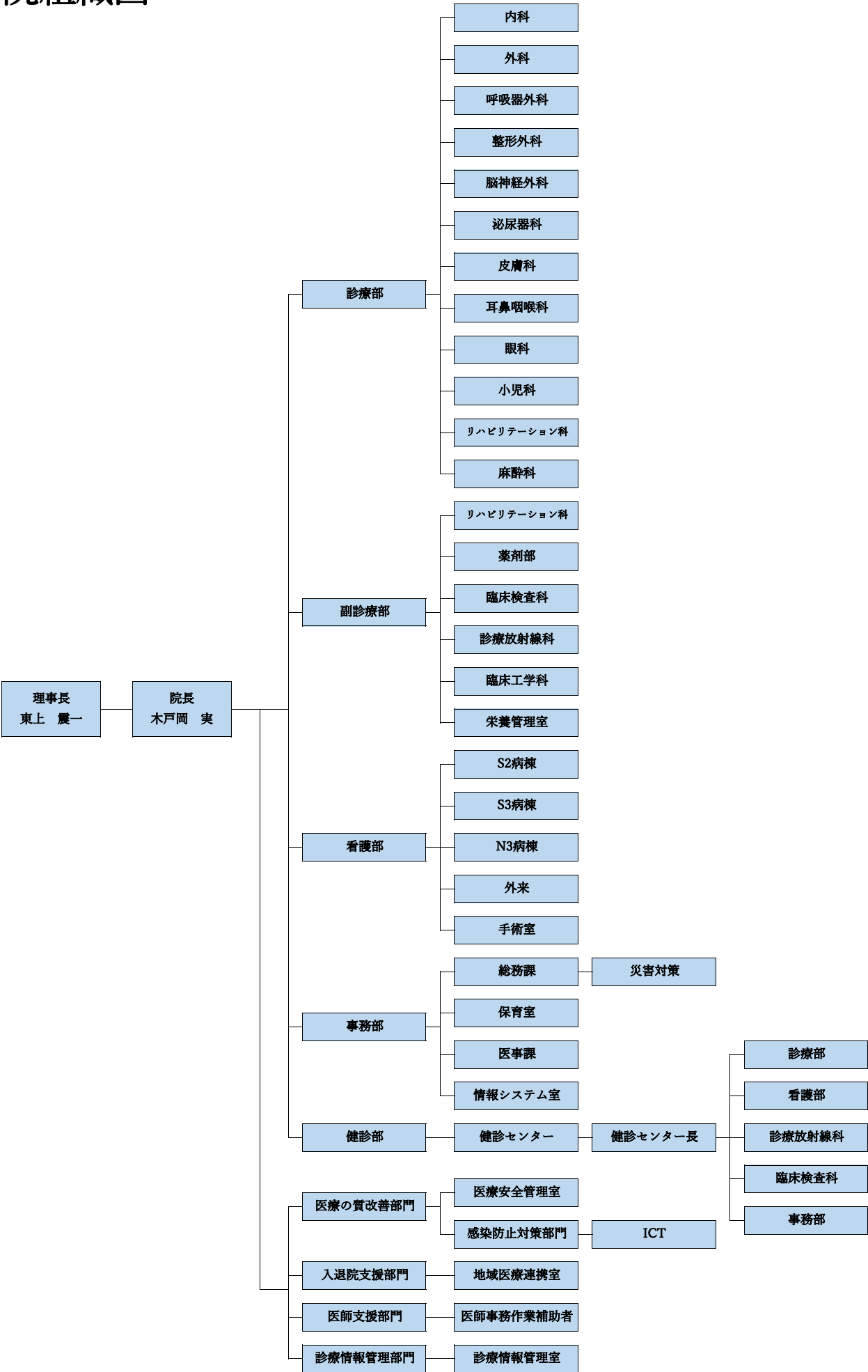
外来在宅ベースアップ評価料

入院ベースアップ評価料

酸素の購入単価

病院組織図

2026年1月8日作成



3 患者統計

外来患者統計

■診療科別延外来延べ患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	1254	1199	1145	1310	1285	1325	1274	1270	1391	1208	1098	1250	15009
小児科	252	234	210	230	194	232	242	236	229	180	215	189	2643
外科	182	214	218	188	182	221	243	221	229	210	185	245	2538
整形外科	887	814	911	909	783	904	953	801	918	867	825	984	10556
脳神経外科	194	219	218	241	175	216	196	172	209	201	211	245	2497
呼吸器外科	6	3	3	21	5	4	2	9	9	9	12	27	110
皮膚科	193	215	218	242	223	219	246	219	197	213	200	192	2577
泌尿器科	104	104	100	98	99	118	102	121	120	110	111	121	1308
眼科	133	131	105	133	110	133	138	129	111	114	114	135	1486
耳鼻咽喉科	96	102	76	81	84	89	77	96	88	87	99	110	1085
婦人科	3	7	12	9	7	11	3	6	5	4	4	6	77
麻酔科	3	5	0	2	5	5	6	8	11	12	13	11	81
リハビリテーション科	0	0	0	1	2	2	2	6	6	3	7	4	33
総合診療科	41	51	80	57	76	87	73	63	113	92	99	112	944
健診科	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
計	3348	3298	3296	3522	3230	3571	3557	3357	3636	3310	3193	3631	40949

■初再診別外来延べ患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初診	473	478	437	510	512	492	487	527	530	443	489	406	5784
(うち新患)	154	145	148	146	189	159	158	159	181	143	155	149	1886
再診	2875	2820	2859	3012	2718	3079	3070	2830	3106	2867	2704	3225	35165
計	3348	3298	3296	3522	3230	3571	3557	3357	3636	3310	3193	3631	40949

■時間帯別外来延べ患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
時間内	3246	3180	3196	3407	3075	3478	3442	3201	3493	3177	3055	3520	39470
時間外	61	55	70	75	96	59	81	68	90	64	83	74	876
休日	27	52	18	31	39	26	22	74	42	51	42	22	446
深夜	14	11	12	9	20	8	12	14	11	18	13	15	157
計	3348	3298	3296	3522	3230	3571	3557	3357	3636	3310	3193	3631	40949

入院患者統計

■診療科別入院延べ患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	1630	1825	1688	1845	1707	1667	1702	1538	920	1005	922	965	17414
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	475	469	453	324	327	398	430	396	434	430	344	274	4754
整形外科	564	438	453	460	487	433	438	469	417	284	461	571	5475
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	1224	1233	1204	1310	1324	1082	1032	1078	1136	1153	984	1138	13898
呼吸器外科	110	115	128	142	136	136	138	142	117	149	82	102	1497
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	12	8	4	16	0	0	4	4	2	12	8	2	72
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科	1804	1919	1900	1884	1854	1696	1905	1688	1474	1492	1360	1517	20493
総合診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健診科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急総合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5819	6007	5830	5981	5835	5412	5649	5315	4500	4525	4161	4569	63603

■新入院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	67	76	81	92	76	82	80	57	51	66	50	55	833
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	18	22	19	11	22	23	24	16	23	30	20	19	247
整形外科	34	23	26	28	23	26	20	41	29	29	25	38	342
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	42	36	42	42	36	29	40	37	45	29	25	43	446
呼吸器外科	7	4	3	3	4	3	4	4	3	4	4	1	44
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	4	4	3	9	0	0	2	2	1	6	4	1	36
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科	12	13	10	15	13	10	13	8	15	7	6	19	141
総合診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健診科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急総合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	184	178	184	200	174	173	183	165	167	171	134	176	2089

■退院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	70	70	86	82	71	77	74	68	68	56	48	56	826
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	23	24	20	15	24	22	25	22	21	22	23	22	263
整形外科	19	15	12	19	15	14	17	19	19	13	18	16	196
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	36	46	35	43	46	37	35	41	42	40	29	41	471
呼吸器外科	4	5	4	1	5	3	3	3	6	3	5	4	46
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	4	4	3	6	3	0	2	2	1	6	4	1	36
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科	27	23	21	26	23	23	20	31	31	17	17	31	290
総合診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健診科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急総合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	183	187	181	192	187	176	176	186	188	157	144	171	2128

救急搬送統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
伊勢田	1		1				1	1	2	1	1	
宇治西			2		2		1	1			1	
宇治中	1	1	1	1	2	7			1	3	4	1
宇治東	20	21	17	18	31	21	28	26	25	23	14	13
大塚	3	2	4	4	4	2	1	4	10	2	3	4
岡崎												1
門真市												
京田辺		1	1									
京都本部												
京都南								1			1	
久津川												
下京												
城陽												
城陽青谷						1						
神川										1		
西勧修寺	6	5	5	8	10	2	3	10	12	12	8	8
醍醐	21	23	28	40	45	7	30	31	28	33	30	35
枚方				1		30						
中京												
東山												1
南浜	7	9	9	15	17	9	18	14	11	12	14	16
伏見	5	1	3	3	3	2	6	1	6	2	5	3
淀						2		1	2		1	1
槇島	6	5	2	6	10	5	6	6	6	14	6	7
壬生										1		
向島	5		4	3	4	4	6	6	8	14	5	16
山科	1	5			1		2	3	1	1	1	
山城			2									
八幡										1		
その他	1	1					2		1	1	6	2
合計	77	74	79	99	129	92	104	105	113	121	100	108

手術統計

2022年～2025年 手術実績（1月～12月）					
		2022年	2023年	2024年	2025年
整形外科	脊椎手術	21	12	30	72
	骨折経皮的鋼線刺入固定術			9	11
	靱血的骨接合術	91	36	92	127
	人工骨頭挿入術	37	17	25	23
	人工関節（肩関節・股関節・膝関節）	17	0	18	25
	抜釘	10	8	5	35
	関節鏡下前十字靱帯断裂形成術			1	
	関節鏡（ARCR含む）	1		1	2
	その他（腱鞘切開・手根管・デブリードマン・腱縫合・肩腱板断裂・脱臼整復・神経移行・など）	19	11	17	60
	合計	196	84	198	355
脳外科	慢性硬膜下血腫		2	7	6
	水頭症手術（シャント手術）		1		1
	水頭症手術（シャント手術）後の抜去				1
	頭蓋内血腫除去術				1
外科	CVポート	1	5	4	12
	肛門系手術	10	6	11	17
	開腹手術（胃・小腸・大腸・胆肝臓）	21	6	10	10
	鏡視下手術（胃・大腸・胆嚢・食道・鼠径ヘルニア他）	27	30	32	32
	鼠径・臍・腹壁瘢痕ヘルニア（鏡視下でないもの）	0	4	6	8
	人工肛門（造設・閉鎖）	1	1	1	4
	その他（皮膚腫瘍・創傷処理・リンパ節摘出・気管切開術など）	7	16	16	22
呼吸器外科					5
眼科	白内障・その他	50	34	57	49
内科	体外ペーシング				
	ペースメーカー	5	5	10	7
麻酔科	神経ブロック		29	54	61
合計		318	223	406	591

4

診療部門

【内科】

■スタッフ

顧問 原島 裕
主任部長 谷浦 武仁
部長 田中 俊樹
医員 井上 彰
他 非常勤

■診療内容

<一般内科>

一般内科は高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病をはじめ、肺炎や尿路感染症、心不全などの急性疾患まで、幅広い内科疾患の診療を行っています。

健診で異常を指摘された方の精密検査や慢性疾患の継続治療にも対応し、患者さん一人ひとりの状態に応じた診療を提供しています。また、専門的な治療が必要な場合には、院内外の専門診療科連携し、適切な医療につなげています。

外来・入院診療に加え、在宅医療にも取り組み、安全で質の高い提供に努めています。

<呼吸器内科>

呼吸器内科では、長引く咳や痰、息切れ、喘鳴（ゼーゼーする呼吸）などの呼吸器症状に対する診療を行っています。気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）、肺炎などの呼吸器感染症をはじめ、幅広い呼吸器疾患に対応しています。

また禁煙外来や睡眠時無呼吸症候群に対する簡易検査およびCPAP（持続陽圧呼吸療法）による治療を実施し、患者さんの生活の質（QOL）の向上に努めています。

<消化器内科>

消化器内科では、食道・胃・十二指腸・小腸・大腸などの消化器疾患をはじめ、肝臓・膵臓などの様々な疾患に対して診断診療を行っています。

診断には、胃カメラ・大腸カメラなどの内視鏡検査に加え、腹部超音波検査、CT、MRIなどを活用し、正確な診断と適切な治療に努めています。

また、内視鏡検査では患者さんの希望に応じて鎮静剤を使用し、苦痛の軽減に配慮した検査を実施しています。

<循環器内科>

循環器内科では、心不全、狭心症、心筋梗塞、不整脈、高血圧などの循環器疾患を中心に、診療を行っています。心電図、心エコー検査、ホルター心電図、血液検査、CTなどを活用し、早期診断と適切な治療に努めています。

より高度な検査やカテーテル治療、心臓外科的治療が必要な場合には、近隣の高度医療機関と連携し、速やかに適切な医療へつなげています。地域の循環器診療を支えるため、室の高い医療の提供に努めています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 15,009人

<入院診療>

延べ患者数 17,414人

■医療講演の実績

<医療講演>

講演日：2025年6月12日

講師：谷浦 武仁

演題：「生活習慣病の日常対策 ～血栓症から命を守るために～」

講演日：2025年7月10日

講師：岩破 将博（府立）

演題：「肺がんと検診」

講演日：2025年12月26日

講師：井上 彰

演題：「糖尿病の治療について」

講演日：2026年1月23日

講師：堤 健雄

演題：「肺炎について」

講演日：2026年2月22日

講師：田中 俊樹

演題：「心房細動と脳塞栓について」

【外科】

■スタッフ

外科部長 濱田 拓男

医員 大田 瑛子

他 非常勤

■診療内容

外科では、胃がん・大腸がん・食道がん・肝胆膵疾患などの消化器外科を中心に、悪性腫瘍に対する手術治療を行っています。また、虫垂炎、胆石症、鼠経ヘルニア（脱腸）、痔疾患などの良性疾患や急性腹症にも幅広く対応しています。

患者さん一人ひとりの症状に応じて、腹腔鏡手術を積極的に導入し、身体への負担が少ない低侵襲治療に努めています。

また、高度な専門治療が必要な場合には大学病院や地域の基幹病院と連携し、切れ目ない医療を提供できる体制を整えています。

肛門外科では、痔核（いぼ痔）、裂肛（切れ痔）、痔瘻などの肛門疾患に対する診療・手術も行っており、地域の医療機関からの紹介患者さんも積極的に受け入れています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 2,538人

<入院診療>

延べ患者数 4,754人

■手術実績

腹腔鏡下鼠経ヘルニア手術 9件

鼠経ヘルニア手術 3件

腹腔鏡下胆嚢摘出術 3件

腹腔鏡下虫垂切除術 6件

腹腔鏡下胃切除術 1件

腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 5件

痔核手術 27件

人工肛門造設術 2件 など

■医療講演

講演日：2025年5月23日

講師：大田 瑛子

演題：「お尻のトラブルは決して恥ずかしいことではありません」

講演日：2025年12月12日

講師：濱田 拓男

演題：「胃がんについて」

【整形外科】

■スタッフ

非常勤

■診療内容

整形外科では、骨折や外傷をはじめ、変形性膝関節症、脊椎疾患、骨粗鬆症など、運動器疾患の診療を行っています。特に、大腿骨頸部骨折や脊椎疾患に対する手術治療を積極的に実施し、患者さん一人ひとりの状態に応じた適切な治療を提供しています。

当院には回復期リハビリテーション病棟を併設しており、手術後も他職種が連携し、在宅復帰や社会復帰を目指した継続的なリハビリテーションを提供しています。急性期から回復期まで切れ目のない医療を通じて、患者さんの機能回復と生活の質の向上に努めています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 10,556人

<入院診療>

延べ患者数 5,475人

■手術実績

腱鞘切開術 20件

骨折観血的手術（上腕） 14件

骨折観血的手術（大腿） 45件

骨折観血的手術（前腕） 33件

骨折観血的手術（下腿） 20件

骨折観血的手術（鎖骨） 14件

人工骨頭挿入術 27件

人工関節置換術 27件

脊椎固定術 43件

経皮的椎体形成術 23件 など

■医療講演

講演日：2025年9月12日

講師：中 信裕

演題：「骨粗しょう症の治療について」

講演日：2026年3月13日

講師：安河内 靖

演題：「高齢者に多い骨折の話」

【脳神経外科】

■スタッフ

院長 木戸岡 実

副院長 安河内 靖

部長 大塚 俊之

■診療内容

脳神経外科では、脳卒中（脳梗塞・脳出血）、頭部外傷をはじめ、頭痛、めまい、手足のしびれなど、脳・神経に関するさまざまな疾患の診療を行っています。

急性期疾患に対しては、CTやMRIなどの画像検査を活用し、迅速かつ的確な診断・治療に努めています。

また、急性期治療後も患者さん一人ひとりの状態に応じて、リハビリテーションや退院支援を含めた継続的な診療を行っています。

当院の回復期リハビリテーション病棟や地域の医療機関・介護福祉施設などとも連携し、在宅復帰や社会復帰を見据えた支援を提供しています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 2,497人

<入院診療>

延べ患者数 13,898人

■手術実績

慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術 6件

頭蓋内血種除去術 1件

水頭症手術 1件

■医療講演の実績

講演日：2025年7月25日

講師：大塚 俊之

演題：「いつか役に立つかも ～脳の話～Part2」

講演日：2025年9月26日

講師：安河内 靖

演題：「めまいとふらつきについて」

講演日：2025年10月10日

講師：竹田 信彦

演題：「脳卒中後のまひや痛みに対する新たなる治療とリハビリテーション」

講演日：2026年2月27日

講師：木戸岡 実

演題：「もの忘れと認知症」

【呼吸器外科】

■スタッフ

部長 黄 政龍

■診療内容

呼吸器外科では、手掌多汗症に対する胸腔鏡下胸部交感神経切除術（ETS）を中心とした専門的な治療を行っています。

手掌多汗症は、手のひらに過剰な汗をかくことで日常生活や社会生活に支障をきたす疾患です。当科では、保存的治療で十分な効果が得られない患者さんに対し、十分な説明と診察を行ったうえで、胸腔鏡を用いた低侵襲手術を実施しています。

地域内外の医療機関とも連携しながら、患者さんそれぞれに適した治療を提供しています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 110人

<入院診療>

延べ患者数 1,497人

■手術実績

胸腔鏡下肺切除手術 2件

胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 2件

胸腔鏡下交感神経切除術 2件

■医療講演の実績

講演日：2025年5月9日

講師：黄 政龍

演題：「手の汗にこまっていますか！？ ～呼吸器外科のおはなしです～」

【小児科】

■スタッフ

顧問 牧野 茂

■診療内容

小児科では、中学生以下のお子さんを対象に、発熱や感染症などの急性疾患から慢性疾患まで幅広い診療を行っています。地域のかかりつけ医として、日常の小児診療に加え、乳幼児健診や各種予防接種を実施し、お子さんの健やかな成長を支援しています。

また、発達等支援外来では、乳幼児の発達に関する相談や、発達障害・てんかん・重症心身障害児などに関する専門的な診療・相談なども行っています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 2,643人

【眼科】

■スタッフ

非常勤

■診療内容

眼科では、白内障、緑内障、糖尿病網膜症、網膜疾患、ドライアイなど、幅広い眼疾患の診療を行っています。視力検査や眼圧検査、眼底検査など各種検査を実施し、患者さん一人ひとりの症状に応じた診断・治療を行います。

白内障手術を積極的に実施しており、患者さんの視機能の回復と生活の質の向上に努めています。

また、眼外傷などの急性疾患にも対応し、必要に応じて高度医療機関との連携を図っています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 1,486人

<入院診療>

延べ患者数 72人

■手術実績

水晶体再建術 46件

【泌尿器科】

■スタッフ

非常勤

■診療内容

泌尿器科では、腎臓・尿管・膀胱・尿道などの尿路疾患をはじめ、前立腺疾患や排尿障害など、幅広い泌尿器疾患の診療を行っています。血尿、排尿時痛、頻尿、尿失禁、残尿感、排尿障害などの症状に対し、診療を行っています。

手術や高度な検査・治療が必要な場合には、宇治徳洲会病院や京都府立医科大学泌尿器科と連携し、適切に対応しています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 1,308人

【耳鼻咽喉科】

■スタッフ

非常勤

■診療内容

耳鼻咽喉科は、耳・鼻・のどの疾患をはじめ、めまい、難聴、耳鳴り、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎など幅広い疾患の診療を行っています。

京都第二赤十字病院および京都府立医科大学付属病院の非常勤医師が診療を担当し、適切な診断・治療を提供しています。

また、精密検査や手術、放射線治療など高度な専門治療が必要な場合には、宇治徳洲会病院や大学病院などの医療機関と連携し、切れ目ない医療を提供しています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 1,085人

【皮膚科】

■スタッフ

非常勤

■診療内容

皮膚科では、湿疹、かぶれ、水虫、にきび、皮膚のできもの、皮膚潰瘍、かゆみなど幅広い皮膚疾患の診療を行っています。血液検査や真菌検査、皮膚生検など実施し、適切な診断・治療に努めています。専門的な検査や入院・手術が必要な場合には、地域の医療機関と連携し、継続した医療を提供しています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 2,577人

【リハビリテーション科】

■スタッフ

主任部長 1名

部長 1名

■診療内容

リハビリテーション科では、脳卒中や大腿骨頸部骨折などの急性期治療後を中心に運動機能や日常生活動作の回復を目的としたリハビリテーションを行っています。回復期リハビリテーション病棟を有し、医師・看護師・リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカーなど多職種が連携して、患者さんの早期在宅復帰・社会復帰を支援しています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 33人

<入院診療>

延べ患者数 20,493人

■医療講演の実績

講演日：2025年8月22日

講師：李 英彦

演題：「「キーワードはアイピーエスとマイピース

さいせいりょうのせかいはしんやからよあけへ」

講演日：2025年11月28日

講師：山本 和明

演題：「脳神経外科医・リハビリテーション科医として経験し、
学んできたこと」

【麻酔科】

■スタッフ

顧問 光藤 努

■診療内容

麻酔科では、全身麻酔を中心に、安全で質の高い周術期管理を行っています。手術前の全身状態の評価から、手術中の管理、術後の覚醒・疼痛管理まで、一貫して患者さんの全身状態を見守り、安全な手術を支援しています。

各診療科と連携し、患者さん一人ひとりに適した麻酔方法を選択するとともに、安全性の向上に努めています。

また、必要に応じて喉頭マスクなどを用いた低侵襲な気道管理を取り入れ、術後の負担軽減にも配慮しています。

「安心・安全な麻酔」を基本理念とし、患者さんが安心して手術を受けられる環境づくりに努めています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 81人

■手術

全身麻酔（吸入） 136件

全身麻酔（吸入）＋硬・脊・伝麻 75件

全身麻酔（TIVA） 149件

脊椎くも膜下麻酔 41件 など

5

看護部門

【外来】

■スタッフ

主任 1名

正看護師 6名

准看護師 2名

パート 3名

■診療内容

当院では、一般外来に加え、各専門分野の医師による専門外来を設け、地域の皆さまのさまざまなニーズに対応しています。

総合診療科をはじめ、呼吸器・消化器・循環器・糖尿病・腎臓などの専門外来をはじめ、発達支援外来、睡眠時無呼吸症候群外来、ペースメーカー外来、漢方外来、女性肛門外来など幅広い診療を行っています。

また、内視鏡検査やポリペクトミーなどの専門的な検査・処置にも対応しており、必要に応じて院内各診療科や宇治徳洲会病院、大学病院などと連携しながら、適切な診療につなげています。

地域の「かかりつけ病院」として、身近な体調不良から専門的な診療まで、安心して受診していただける外来診療体制を整えています。

■診療実績

＜外来診療＞

延べ患者数 40,949人

【病棟】

■スタッフ

師長 2名	看護補助者 27人	クラーク3人
主任 2名	パート 2人	
副主任 4名		
正看護師 45名		
准看護師 5名		
パート 5名		

■診療内容

当院では、一般急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、の3つの病棟を有し、急性期医療から在宅復帰まで切れ目ない医療・看護を提供しています。

2025年12月には病床機能の見直しに伴い、一般急性期病棟を101床から53床へ再編し、病床数を199床から143床へ適正化しました。病床規模を見直す一方で、急性期・回復期・在宅復帰支援の各機能を強化し、地域のニーズに応じた効率的で質の高い医療提供体制の構築を進めています。

患者さんの病状や回復段階に応じて適切な病棟へ移行し、医師・看護師・リハビリスタッフ・薬剤師・管理栄養士・医療ソーシャルワーカーなど他職種が密接に連携しながら、一人ひとりに寄り添った支援を行っています。

<一般急性期病棟>

整形外科、外科、内科、脳神経外科、呼吸器外科など幅広い診療科の患者さんを受け入れ、手術や急性期治療を必要とする患者さんへ迅速かつ安全な医療を提供しています。早期離床やリハビリテーションを積極的に取り入れ、退院後の生活を見据えた支援にも取り組んでいます。

<地域包括ケア病棟>

急性期治療を終えた患者さんが安心して在宅や施設へ戻れるよう、医療・看護・リハビリテーション・退院支援を一体的に提供しています。身体拘束を行わない看護やACP（人生会議）の支援、レスパイト入院への対応など、その人らしい生活を支える医療を実践しています。

<回復期リハビリテーション病棟>

365日体制でリハビリテーションを提供し、整形外科・脳神経外科疾患を中心に、日常生活動作（ADL）の改善と在宅復帰を目指しています。患者さん一人ひとりの生活背景や目標を大切に、「生活を取り戻すリハビリテーション」を多職種で支援しています。

■診療実績

<入院診療>

延べ患者数 63,603人

■医療講演の実績

講演日：2025年5月23日

講師：葛西 雅

演題：「認知症の一次予防について ～いつまでも健康に過ごすために～」

講演日：2025年10月24日

講師：大河 治子

演題：「フレイルとは・・・ 要介護にならないために！」

講演日：2026年3月13日

講師：大河 治子

演題：「住み慣れた自宅で最期まで自分らしくあるために」

【手術室】

■ スタッフ

副主任 1名

正看護師 4名

■ 診療内容

手術室では、外科、整形外科、呼吸器外科、眼科、泌尿器科などの手術に対応し、安全で質の高い医療を提供しています。特に、脊椎手術や人工関節置換術、大腿骨頸部骨折などの整形外科手術、白内障手術、手掌多汗症手術、ペースメーカー関連手術など幅広い手術を実施しています。

手術に携わる医師、麻酔科医、看護師、臨床工学技士など多職種が連携し、患者さんが安心して手術を受けられるよう、安全管理の徹底と質の高いチーム医療に努めています。

■ 手術実績

2022年～2025年 手術実績（1月-12月）						2022年	2023年	2024年	2025年
整形外科	脊椎手術					21	12	30	72
	骨折経皮的鋼線刺入固定術							9	11
	観血的骨接合術					91	36	92	127
	人工骨頭挿入術					37	17	25	23
	人工関節（肩関節・股関節・膝関節）					17	0	18	25
	抜釘					10	8	5	35
	関節鏡下前十字靱帯断裂形成術							1	
	関節鏡（ARCR含む）					1		1	2
	その他（腱鞘切開・手根管・デブリードマン・腱縫合・肩腱板断裂・脱臼整復・神経移行・など）					19	11	17	60
	合計					196	84	198	355
脳外科	慢性硬膜下血腫						2	7	6
	水頭症手術（シャント手術）						1		1
	水頭症手術（シャント手術）後の抜去								1
	頭蓋内血腫除去術								1
外科	CVポート					1	5	4	12
	肛門系手術					10	6	11	17
	開腹手術（胃・小腸・大腸・胆肝膵）					21	6	10	10
	鏡視下手術（胃・大腸・胆嚢・食道・鼠径ヘルニア他）					27	30	32	32
	鼠径・臍・腹壁癒着ヘルニア（鏡視下でないもの）					0	4	6	8
	人工肛門（造設・閉鎖）					1	1	1	4
	その他（皮膚腫瘍・創傷処理・リンパ節摘出・気管切開術など）					7	16	16	22
呼吸器外科								5	
眼科	白内障・その他					50	34	57	49
内科	体外ペーシング								
	ペースメーカー					5	5	10	7
麻酔科	神経ブロック						29	54	61
合計						318	223	406	591

6

副診療部門

【リハビリテーション科】

■スタッフ

副室長 3名	理学療法士 15名	事務員 1名
主任 2名	作業療法士 6名	
副主任 5名	言語聴覚士 4名	

■診療内容

当院リハビリテーション科では、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）が連携し、急性期から回復期、地域包括ケア病棟、外来まで切れ目ないリハビリテーションを提供しています。

整形外科疾患や脳血管疾患を中心に、呼吸器・循環器疾患など幅広い患者さんを対象とし、一人ひとりの身体機能や生活背景に合わせた個別プログラムを実施しています。回復期リハビリテーションでは365日体制で集中的なリハビリを行い、自宅や地域でその人らしい生活を送れるよう、多職種と連携して在宅復帰を支援しています。

■診療実績

<外来診療>

延べ患者数 33人

<入院診療>

延べ患者数 20,493人

<年間提供単位数>

脳血管疾患リハビリテーション 61,407単位

運動器リハビリテーション 77,504単位

呼吸器リハビリテーション 6,313単位

廃用症候群リハビリテーション 22,385単位

■医療講演の実績

講演日：2025年7月25日

講師：大内 啓

演題：「ロコモティブシンドローム（移動能力障害）について
～健康寿命を延ばすためには～」

講演日：2025年11月28日

講師：松永 晋治

演題：「肩甲骨を動かして元気な姿勢に！」

【薬剤部】

■ スタッフ

副薬局長 1名

主任 1名

副主任 2名

薬剤師 2名

事務副主任 1名

事務 3名

■ 診療内容

薬剤部は、患者さんが安全かつ適切に薬物治療を受けられるよう、調剤から薬剤管理、医薬品情報の提供まで幅広い業務を担っています。入院・外来を問わず、一人ひとりの治療内容や状態に応じた薬物療法を支援し、安心して治療に専念できる環境づくりに努めています。

入院患者さんには持参薬の確認や服薬指導を行い、医師・看護師と連携しながら薬の効果や副作用を確認し、より安全で効果的な薬物療法を支援しています。また、退院時には地域の保険薬局とも情報共有を行い、継続した治療につなげています。さらに、院内で使用する医薬品の適性管理や医薬品情報の提供に加え、NST（栄養サポートチーム）、ICT（感染対策チーム）、医療安全など多職種チームの一員として活動し、病院全体の医療の質の向上にも貢献しています。

■ 診療実績

<服薬指導>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
97	104	11	103	89	88	98	90	99	96	92	99

■ 医療講演の実績

講演日：2025年12月26日

講師：仲 由美子

演題：「带状疱疹を知ろう！ワクチン接種で防ぐつらい痛み
～定期接種が始まりました～」

【臨床検査科】

■ スタッフ

主任 1名

副主任 1名

臨床検査技師 7名

■ 診療内容

臨床検査科では、正確で迅速な検査データを提供し、診断や治療方針の決定を支えています。患者さんに安心して検査を受けていただけるよう、安全性と精度を重視し、日々技術の向上と品質管理に努めています。

生理検査では、心電図、超音波検査、肺機能検査、脳波検査、ABI検査などを実施し、患者さんの身体への負担が少ない検査で循環器・呼吸器・神経・血管疾患などの評価を行っています。また、検体検査では血液・尿などを用いた生化学検査、血液検査、一般検査を実施し、輸血業務では血液型判定や交叉適合試験など、安全な輸血医療を支えています。

■ 診療実績

< 検体検査 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,948	2,124	2,029	2,241	2,235	2,472	2,464	2,409	2,249	2,025	1,852	2,023

< 胸腹部エコー >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
175	206	220	299	185	251	286	271	286	220	209	268

< 心エコー >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
106	102	94	129	102	107	143	117	157	113	129	169

■ 医療講演の実績

講演日：2025年9月12日

講師：二岡 拓也

演題：「検査を受ける前に気を付けること」

講演日：2026年1月23日

講師：張 喻

演題：「肺機能って何？」

【診療放射線科】

■ スタッフ

副技師長 1名

係長 1名

主任 1名

副主任 1名

診療放射線技師 4名

事務 1名

■ 診療内容

診療放射線科では、一般撮影、CT、MRI、マンモグラフィなどの各種画像検査を通じて、診断から治療まで幅広く医療を支えています。

最新の画像診断機器を活用し、迅速かつ精度の高い検査を提供することで、患者さんの早期発見・早期治療に貢献しています。

2025年には最新のトンネル型MRI装置を導入し、より高画質で負担の少ない検査が可能となりました。また、2023年に導入したデジタルマンモグラフィ装置では、乳がん検診や精密検査にも対応し、女性の健康を支えています。

院内ではPACSによる画像管理システムを活用し、各診療科と連携しながら迅速な診療を支援しています。患者さんに安心して検査を受けていただけるよう、安全性と丁寧な対応を心がけています。

■ 診療実績

<CT>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
602	594	593	588	555	548	578	535	596	533	512	583

<MRI>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
138	188	252	233	167	198	199	156	263	199	190	221

<一般撮影>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,082	1,223	1,141	1,134	1,045	1,157	1,256	1,117	1,199	1,095	1,085	1,230

■医療講演の実績

講演日：2025年6月27日

講師：保谷 友佳里

演題：「マンモグラフィけんさのあれこれ ～どんな検査？なにが分かるの？～」

講演日：2025年10月10日

講師：北野 真司（シーメンスヘルスケア株式会社）

演題：「新MRI装置について」

講演日：2025年11月14日

講師：岡村 篤

演題：「放射線技師のお仕事」

講演日：2026年3月27日

講師：平田 弘輝

演題：「知っておきたい被ばくのおはなし」

【臨床工学科】

■ スタッフ

臨床工学技士 2名

■ 診療内容

臨床工学科では、生命維持装置をはじめとする医療機器の専門職として、安全で質の高い医療を支えています。医師や看護師など多職種と連携し、医療機器の保守・点検・操作支援を行うことで、患者さんが安心して治療を受けられる環境づくりに努めています。

中央機器管理では、人工呼吸器や輸液ポンプ、シリンジポンプなどの医療機器を一元管理し、日常点検や定期点検、トラブル対応を実施しています。

また、新規導入機器の説明会や職員教育を通じて、安全な機器使用の推進にも取り組んでいます。

さらに、手術室では医療機器の準備や術中支援、呼吸管理ではネーザルハイフローやNPPVなど高度な呼吸療法に対応しています。

内視鏡業務では機器の準備や保守管理を担当し、各診療部門を技術面から支えています。

【栄養管理室】

■スタッフ

主任 1名
管理栄養士 2名
事務 1名

■診療内容

栄養管理室では、「安全・安心で患者さんに満足していただける食事の提供」を基本理念に、給食管理と臨床栄養管理の両面から患者さんを支えています。

入院時には、栄養スクリーニングを実施し、一人ひとりの病態や栄養状態に応じた栄養管理を行っています。医師や看護師、リハビリスタッフなど多職種と連携し、退院後の生活も見据えた栄養指導や支援を実施しています。

また、NST（栄養サポートチーム）では、医師・薬剤師・言語聴覚士・臨床検査技師・管理栄養士が協働し、栄養状態や嚥下機能を総合的に評価しています。週1回のカンファレンス・回診を通じて、食事内容や栄養管理を検討し、患者さんの栄養状態の改善や早期回復を支援しています。

給食管理では、病態に応じた食事の提供はもちろん、季節を感じられる行事食にも取り組み、入院生活の満足度向上にも努めています。

■診療実績

<入院診療>

栄養指導

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
48	47	28	35	26	29	30	29	50	50	46	39

栄養情報連携

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	4	5	5	5	3	5	4	6	3	6	3

■医療講演の実績

講演日：2025年6月12日

講師：石川 恭子

演題：「認知症予防 生活習慣を見直そう」

講演日：2025年9月26日

講師：太期 礼慈

演題：「貧血対策 食事のできるセルフケア」

講演日：2026年2月12日

講師：太期 礼慈

演題：「食事で免疫力を 感染症に負けない体を作ろう！」

7 健診部門

【健診センター】

■ スタッフ

医師 2名
看護師 1名
保健師 1名
視能訓練士 1名
事務員 2名

■ 診療内容

健診センターでは、人間ドック、脳ドックをはじめ、企業健診、自治体健診、特定健診、各種がん検診など、幅広い健診サービスを提供しています。

受診者一人ひとりの健康状態に応じた検査・保健指導を行い、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療につなげるとともに、必要に応じて精密検査や専門診療へ円滑にご案内するなど、継続的な健康管理を支援しています。

また、院内の各診療科や放射線科、検査科と連携し、地域の皆さまの健康維持・増進に貢献できる健診体制の充実に努めています。

■ 診療実績

<ドック、健診等>

人間ドック

脳ドック

一般健診

特定健診

企業健診

市民健診

がん検診

<主な検査等>

胃内視鏡検査

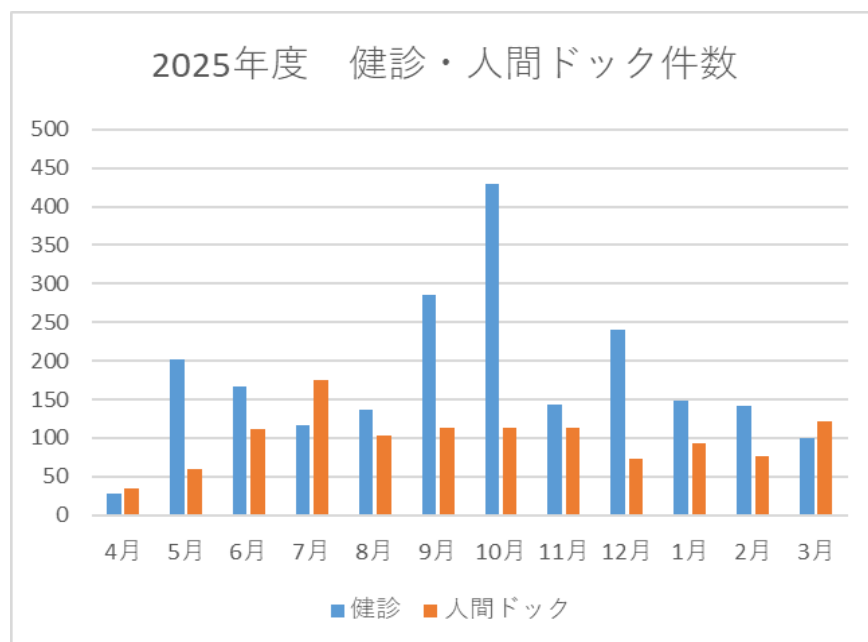
胃X線検査

マンモグラフィー

頭部MRI検査

腹部CT検査

腹部超音波検査



■ 医療講演の実績

講演日：2026年1月9日

講師：小石 恭士

演題：「胃がん・大腸がん検診について」

講演日：2026年3月27日

講師：岩永 資隆

演題：「生活習慣病

～脂質異常症（高脂血症）のおはなし～」

健診センターの理念 「安心を届ける予防医療」

私たちは、受診者様の健康増進と維持のために、健診の質向上に取り組み、受診者様の意思を尊重し、安心して受診いただける健診施設を目指します。

健診センター基本方針

1. 医療安全・院内感染対策に取り組み、安全で安心できる健診を提供します。
2. 健診を有意義で効率的なものとするために、自院での精密検査とともに、他の徳洲会グループの医療機関とも連携を行います。
3. 精密検査受診率を高めるために、きめ細かなフォローアップと保健指導の充実に努めます。
4. 受診者様に最新の予防医学水準で対応できるよう、職員の医療知識、医療技術の研鑽に努めます。
5. 受診者様に安心と満足を提供できるよう、常に質改善行動に努めます。

受診される方の権利

【安全で良質な健診を受ける権利】

受けられた健診結果を全て知り、安全かつ良質な医療を公平に継続して受けることができます。

【自己決定と選択の権利】

健診内容について十分な説明を受け、検査内容、方法を自己の意思で選択することができます。また、質問の機会を得ることができます。

【知る権利】

健診の記録や情報、費用の内容等を知ることができます。

【個人情報の守秘を求める権利】

健診中、及び健診上得られた個人情報は、法的な正当な要請がある場合を除き、当院「個人情報保護規程」に基づき保護され、守秘されます。またプライバシーは、常に保護・尊重されます。

【苦情の申し立てをする権利】

健診の方針、受診の疑問点、問題点はいつでもお申し出いただけます。

受診される方の権利

【健康に関する情報提供の責務】

的確な検査結果を得るために、受診者様自身の健康や症状に関する正確な情報の提供が必要です。ご自身の病状や既往歴について詳しくお知らせ下さい。

【健診の秩序を守る責務】

すべての受診者様が、安全で良質な健診を受けていただけるようご配慮いただくとともに、当院職員が適切な業務を行うことを妨げないよう病院が定めた規則をお守り下さい。

8

事務部門

【医事課】

■ スタッフ

課長 1名
主任 1名
副主任 1名
入院担当 3名
外来担当 6名
パート 1名
渉外担当 1名

■ 診療内容

医事課では、患者さんの受付や会計業務をはじめ、救急患者の対応、外来・入院診療費の計算、診療報酬請求業務を行っています。

また未収金の管理・回収や施設基準の届出・管理、医療統計の作成など、病院運営を支える幅広い業務を担っています。

患者さんが安心して受診できる窓口対応と、正確かつ適正な診療報酬請求を通じて、円滑な医療提供体制の維持に努めています。

■ 診療実績

<入院レセプト>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社保	61	72	65	79	62	78	56	68	65	61	57	52
国保	291	282	286	275	276	257	279	246	229	225	212	245

<外来レセプト>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社保	860	910	883	968	952	972	980	1013	1004	930	940	914
国保	1,310	1,265	1,310	1,300	1,223	1,365	1,309	1,194	1,403	1,293	1,267	1,405

■ 医療講演の実績

講演日：2025年8月22日

講師：山本 梨帆

演題：「回復期リハビリテーション病棟とは」

講演日：2026年1月9日

講師：児玉 美奈

演題：「在宅訪問診療について」

【地域医療連携室】

■ スタッフ

室長 1名
社会福祉士 3名
事務員 5名

■ 診療内容

地域医療連携室は、地域の医療機関や介護・福祉関係機関との連携窓口として、紹介患者さんの受入や逆紹介、診療・検査予約の調整を行っています。

また、患者さんやご家族が安心して退院・療養生活へ移行できるよう、退院支援や医療福祉相談を実施し、切れ目ない医療・介護の提供に努めています。

■ 診療実績

<紹介件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介	165	158	161	155	154	162	139	120	136	119	134	113

■ 医療講演の実績

講演日：2026年2月27日

講師：吉川 陽人（株式会社 結陽）

演題：「介護施設「不安」を「大きな安心」に変える住まいの見つけ方」

【診療情報管理室】

■ スタッフ

係長 1名

診療情報管理士 1名

■ 診療内容

2025年8月に診療情報管理室として独立し、診療情報管理体制の整備を進めています。診療録の適正な管理をはじめ、疾病統計やDPC関連業務、全国がん登録、カルテ開示など、診療情報の収集・管理・活用を行っています。また、診療情報管理規程をはじめとした各種規程・手順書の整備や運用の見直しを進め、診療情報を安全かつ適切に管理できる体制づくりに取り組んでいます。

さらに、各種統計資料や分析資料を作成し、診療情報を医療の質向上や病院運営に活用できるよう院内へ情報提供を行っています。

今後も、正確で信頼性の高い診療情報の管理と有効活用を通じて、より良い医療の提供に貢献してまいります。

■ 診療実績

<カルテ開示>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本人・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
弁護士	1	1	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0
保険会社	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
裁判所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
労働基準監督署	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
警察	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
計	3	2	1	2	2	3	0	1	3	1	1	1

【医師事務作業補助者】

■スタッフ

副主任 1名

医師事務行補助者 8名

パート 2名

■診療内容

医師事務作業補助者（メディカルクラーク）は、医師の事務作業を支援し、診療に専念できる環境づくりを担っています。外来診療補助、診療録等の代行入力、各種診断書作成、検査・予約案内、各種登録業務などを行い、医療の質の向上と業務効率化に貢献しています。

医師事務作業補助体制の充実を図るため、人員体制を強化し、常勤9名、非常勤2名の体制となりました。各診療科と連携を深めながら、更なる医師の負担軽減と診療の効率化に努めます。

9

医療の質改善部門

【医療安全管理室】

■スタッフ

医療安全管理者（看護師） 1名

■診療内容

2025年度より医療安全管理体制の充実を図り、患者さんが安心して医療を受けられる環境づくりに取り組んでいます。

インシデント・アクシデント報告を通じて医療事故の未然防止と再発防止に努めるとともに、報告内容の分析や改善策の検討を行い、安全な医療の提供につなげています。また、職員を対象とした医療安全研修をeラーニングなどにて計画的に実施し、職員全体の安全意識の向上と医療の質の向上に努めています。

■主な取組

- ・インシデント・アクシデント報告体制の運用と分析
- ・医療安全委員会の開催
- ・医療安全研修（eラーニング）の実施

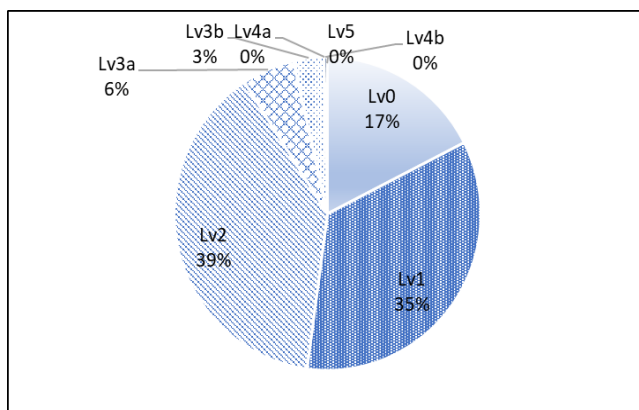
「医療事故発生時の初期対応」（2025年5月1日～5月31日）

「患者家族のよい関係を築くコミュニケーション」（2025年10月1日～10月31日）

- ・宇治徳洲会病院との相互連携

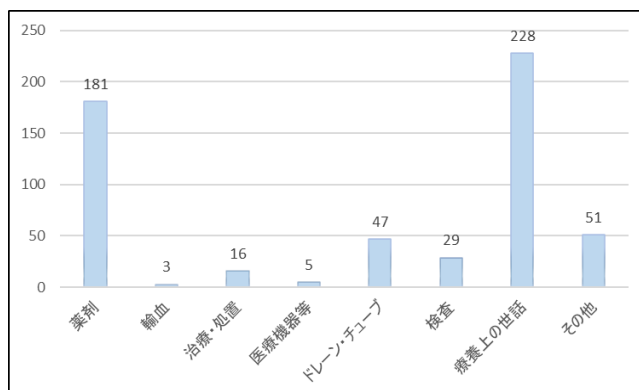
■統計

<2025年インシデント報告>



レベル	件数
Lv0	98
Lv1	194
Lv2	217
Lv3a	31
Lv3b	18
Lv4a	0
Lv4b	2
Lv5	0

<事故の種類>



種類	報告
薬剤	181
輸血	3
治療・処置	16
医療機器等	5
ドレーン・チューブ	47
検査	29
療養上の世話	228
その他	51
合計	560

委員会組織図

